

History and Culture

Japanese Phonetics

Shinsuke Kishie · PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

2 units 前期 木 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『歴史と文化』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『日本語学』)

Outline 音声について学習する。日本語の音声をメインに取り扱うが、音声を音響学的側面から扱い、音声分析などをパソコンソフトを用いて行う。日本の諸方言の音声を取り上げて解説し、方言音声のバリエーションについて学ぶ。特にアクセント体系などに違いについて述べる。

Goal

1. 音声言語、方言音声を音響学的分析によって音声に対する認識を新たにする。
2. コミュニケーションにおける音声の役割を理解する。

Schedule

1. 音声とは何か?
2. 音声生成のメカニズム
3. 音声を物理的にとらえる
4. 日本語の音声学
5. 音声と音素
6. モーラとシラビーム
7. 日本語諸方言のモーラとシラビーム
8. 日本語史における音声の変化
9. 日本語諸方言の音声
10. アクセント・イントネーション・ポーズの役割
11. 音響音声学とはなにか
12. 自分のアクセントを分析する
13. 全国諸方言アクセントの体系
14. パソコンによる音声分析を行う
15. 全国諸方言の音声やアクセントを調べる
16. 総括

Textbook 随時プリントを配布する。

Reference 今石元久編『音声分析入門』(和泉書院)

Evaluation Criteria 出席 (30%), レポート (50%), 小テスト (20%) を評価の割合とする。

Re-evaluation 無

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220720>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Kishie (+81-88-656-9309, kishie@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 12:00-12:45(毎週火曜日))

Note 社会人ボランティアの参加要請 (5 名程度)・・・方言や日本語音声の地域差に興味がある方で授業補助をして下さる社会人ボランティアの方を募集しています。